

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



明月 花徑を留む

高 木 聖 雨 先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



明月 花徑を留む

高 木 聖 雨 先生

条幅かな

条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)
B部 (四段~準三段)

秋の色を越者はら八帝ひはててや久方かたの月のか可能つら耳に木枯農可也の風(藤原雅経)

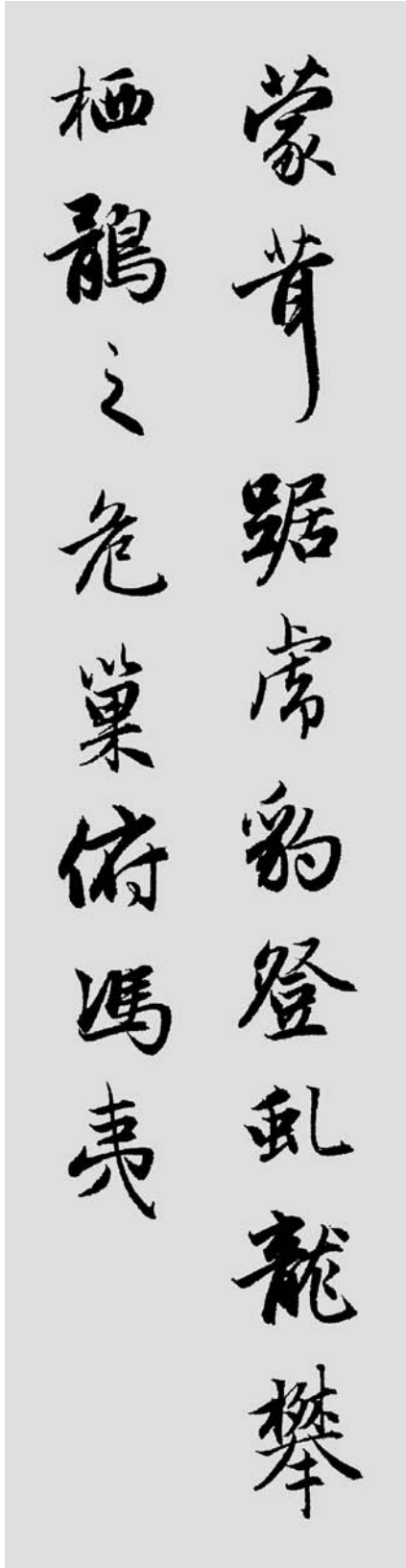


※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

浮 乗 清 郷 先 生

前後赤壁賦(元・趙孟頫)

蒙茸踞虎豹登虬龍攀栖鶴之危巢俯馮夷



道因法師碑(唐・歐陽通)

物躡湊宏才巨彦碩德高僧咸挹芳猷歸心接



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(12月10日締切)

半紙規定 (一)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書
〔二級以下〕楷書

亀図鳳紀、日は五色を含み、

紀日含五色

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(12月10日締切)

半紙規定(二)

曹全碑(漢・作者不詳)



廉武威長史

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

孝・廉・に・挙・げ・ら・れ・武・威・長・史

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(12月10日締切)

本 手 考 参 幅 条

秋山斂餘照飛鳥逐前侶彩
翠時分明夕嵐無處所

山田雪草先生

秋山斂餘照 飛鳥逐前侶 彩翠時分明 夕嵐無處所
秋山は余照を斂め 飛鳥は前侶を逐う 彩翠時に分明にして 夕嵐の処る所無し

大越三宗先生

白雲望不盡 高樓空倚闌 中宵鴻鴈過 來處是長安
白雲望み尽きず 高樓空しく闌に倚る 中宵鴻鴈過ぐ 来る処是長安

白雲望不盡 高樓空倚闌 中宵鴻鴈過 來處是長安
白雲望み尽きず 高樓空しく闌に倚る 中宵鴻鴈過ぐ 来る処是長安

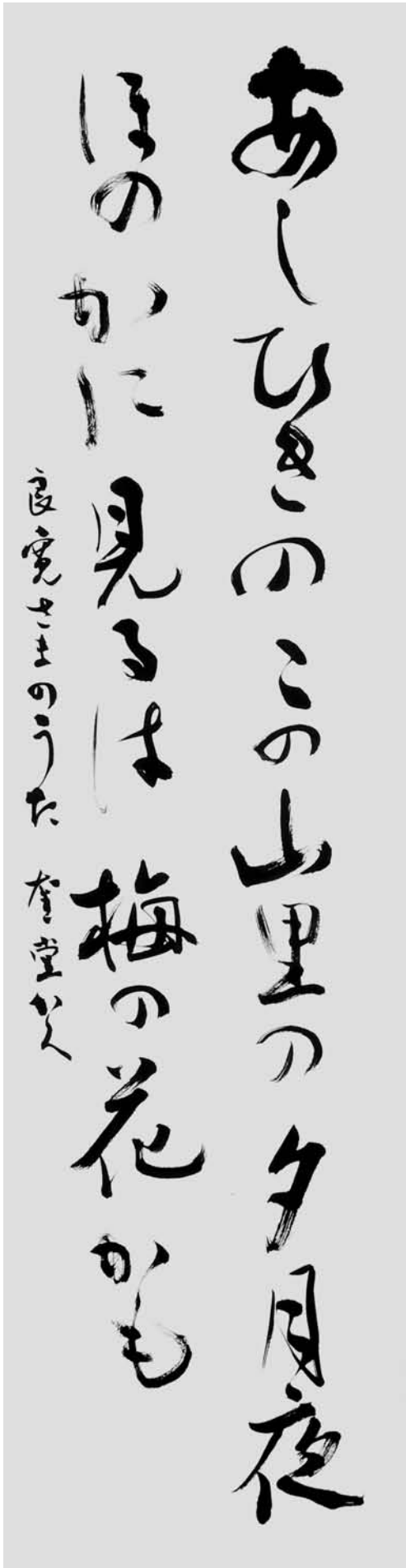
条幅参考手本



青木昇堂先生

渺渺戍烟孤 茫茫塞艸枯 隴頭那用閉 萬里不防胡
 渺々として戍烟孤なり 茫々として塞艸枯る 隴頭那ぞ閉づることを用ひむ 萬里胡を防がず

田中奎堂先生



あしひきのこの山里の夕月夜ほのかに見るは梅の花かも

半紙かな（初段以上）

霜枯^可れは^連そこ^八も^母見えぬ草の原たれに^誰問は^爾まし秋の名残^なを^利越^越す
 (藤原俊成女)

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
 ※ちらし文字変換は自由

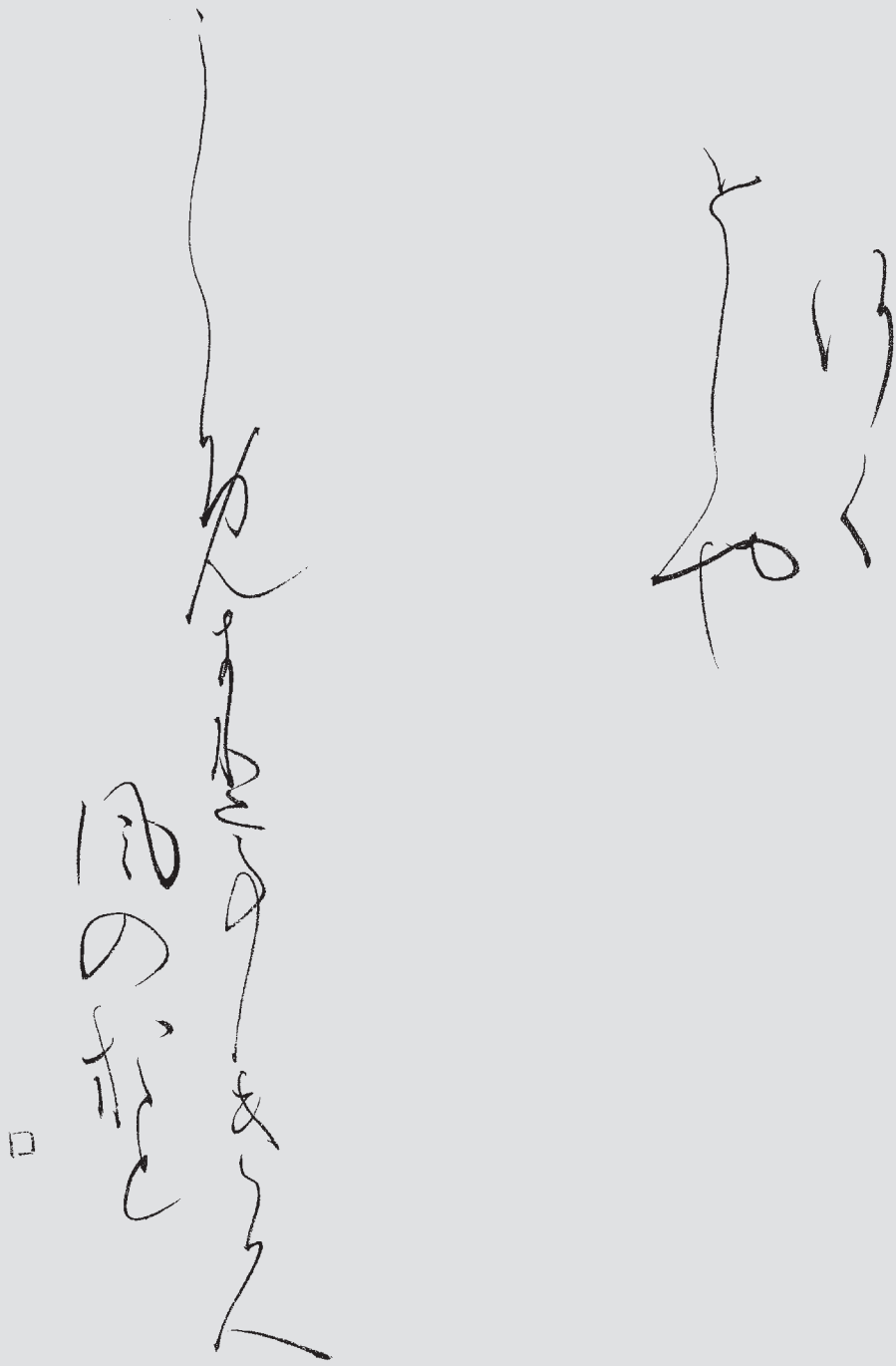
浮 乘 清 郷 先 生

(12月10日締切)

半紙かな（1級～8級）

ゆく年やしめきりてきく風の音（久保田万太郎）

支部名 級 姓 号（鉛筆可）



※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

若月 久美子 先生

（12月10日締切）

実用文（準三段以上）

〈書風任意〉

朝起きると新聞を読み本を読み
書類を作り手紙を書く行き先
表示板を掲げ看板を見たり漢字
のなま日本人の暮らさるるを想像する
事は不可能である

支部名 西 姓号

塚田悠碩先生

(12月10日締切)

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

弥彦山周辺は自然を楽しむ最適
の場所だ四季折々の花を愛でな
がらの数策は身も心も癒される
山腹の紅葉も素晴らし
支部名 級級 姓 号

和泉千泉先生

(12月10日締切)

細 字

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。

源げん氏し 興きよう 讀どく 源氏物語。

文ぶん豪ごう すぐれた文筆作家。

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

支 部
段
姓
号

燈 裡 讀 興 長 篇 源 氏 文 豪
 燈 裡 讀 興 長 篇 源 氏 文 豪
 燈 裡 讀 興 長 篇 源 氏 文 豪
 燈 裡 讀 興 長 篇 源 氏 文 豪

硬筆（初段以上）

降るものは雪。霰。霰は、はくけれど白き雪
のまじりて降るをかし。雪は檜皮葺、いと
めでたし。すし消えがたになうたるほど。また、
いとおぼろも降らぬが、瓦の目ごとに入りて黒う
まろに見えたる、いとをかし。 枕草子より

支部名 段 姓 号

本院定型用紙一枚に書く

霰…あられ・霰…みぞれ・檜皮葺…ひはだぶき

青柳江雲先生

(12月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

童話「アリとキリギリス」は、将来への備え
と勤勉の大切さを説いている。

本院定型用紙・たて半分に書く

齊藤 翡翠 流 先生

硬筆（1級～3級）

支部名

級

姓

号

童話「アリとキリギリス」は、将来への備え
と勤勉の大切さを説いている。

齊藤 翡翠 流 先生

(12月10日締切)

中2用

支
部
名

段
級

名
前

連 新
山 雪
の

田邊玉翠先生

中3用

支
部
名

段
級

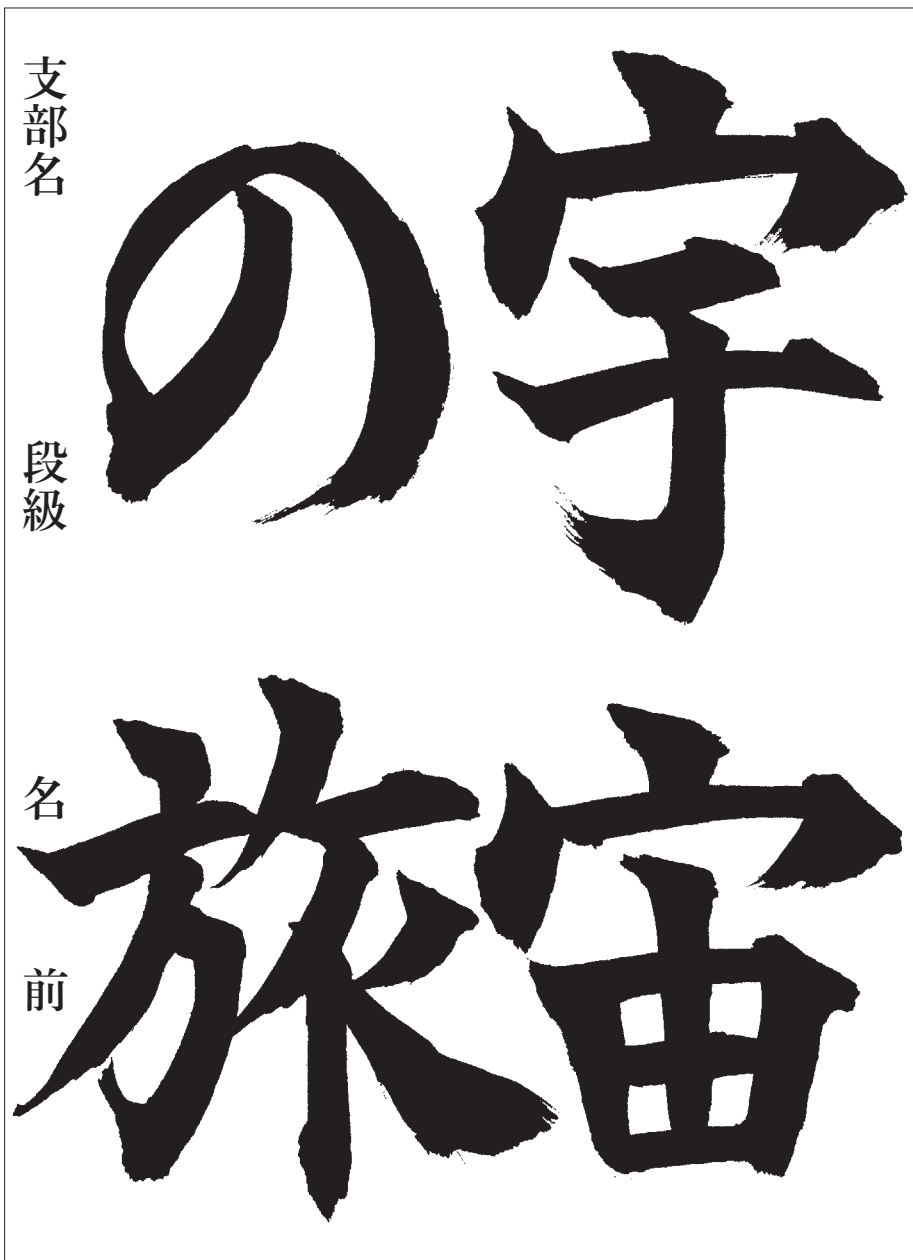
名
前

雪 景
遠 山
の

田邊玉翠先生

(12月10日締切)

小6用



朝平霞山先生

中1用



田邊玉翠先生

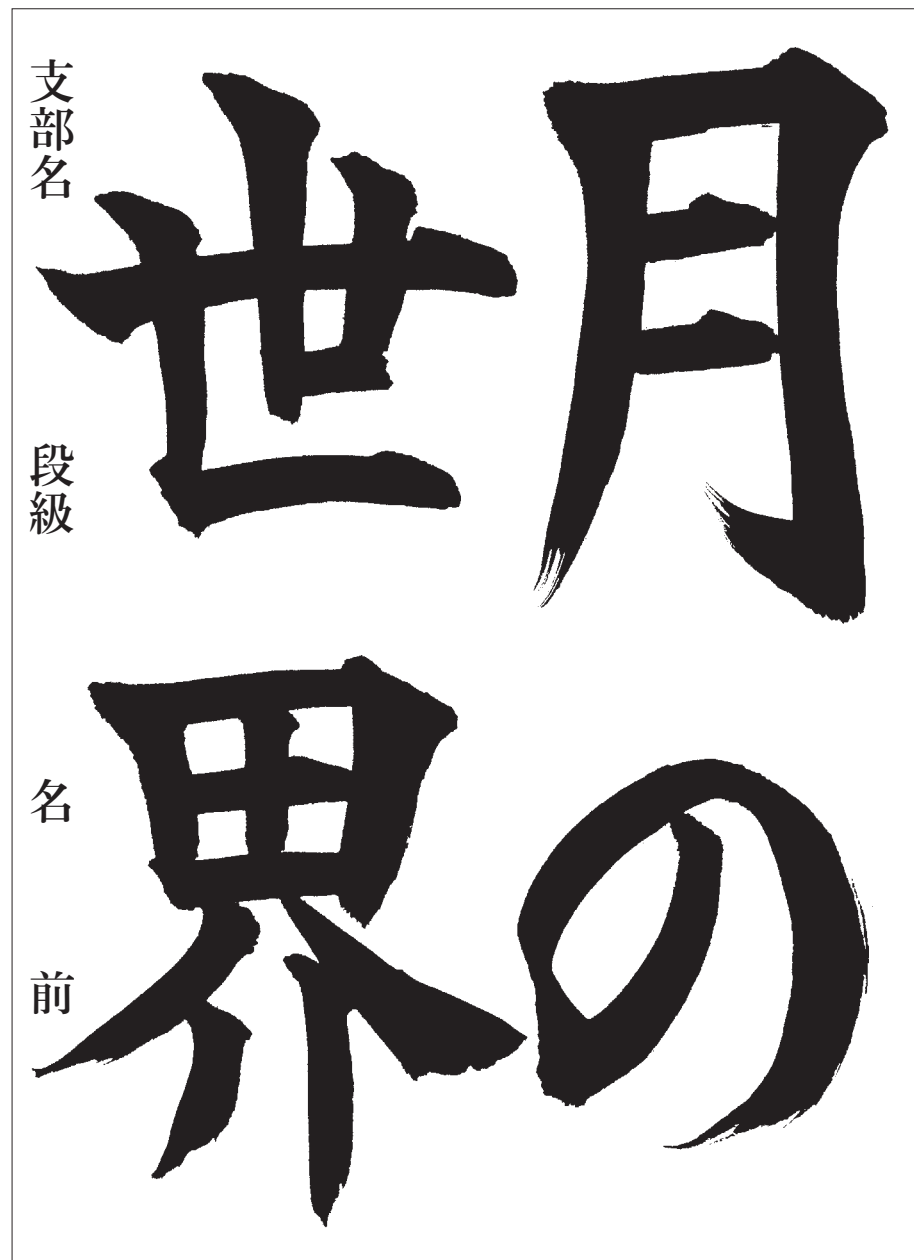
(12月10日締切)

小4用



朝平霞山先生

小5用



朝平霞山先生



(12月10日締切)

小2用

支部名

段級

名
前



主幹 菅野翠濤

小3用

支部名

段級

名
前

主幹 菅野翠濤

(12月10日締切)

中1

不断の努力ですばらし
い記録を樹立したのだ。

中2

紅葉の名所は、山地の
溪谷や湖畔などに多い。

中3

登場人物の気持ちを理
解しながら物語を読む。

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

ゆきま

中1～中3

青柳江雲先生

(12月10日締切)

小1・幼年

おばあちゃんは、あさ
さんぽをします。

小1～小3

小 2

おちばを、一まい本のあ
いだにはさみしました。

齊藤 翡翠 流 先生

小 3

強い北風が、ヒューと
うなっています。

小 4

急に寒くなってきた。
みんな元気ですか。

小4～小6

小 5

校庭のいちようが、金
色にかがやく季節です。

若月 久美子

小 6

この料理は、野菜も肉
も入って栄養たっぷり。

先生

(12月10日締切)

小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

寒い空
北風ふく

主幹 菅野翠 濤

中学部かな課題

支部名

段級

名

前

うっふっふて
雪にーづめる梢
かな

船久保 棠苑 先生

季語「雪」

大雪のため木の梢が大きくたわんで、雪の中に沈んでしまっている景。一樹を描くことで、他のものすべて積雪にうずもれてしまっていることがうかがわれる。

(12月10日締切)